

浜岡原子力発電所1,2号炉 クリアランス認可申請 指摘事項に対する回答整理表

ハッチング：回答済

No.	審査会合 ヒアリング	実施日	該当ページ	コメント内容	回答内容	回答状況
1	審査会合	2023年10月5日	本文 P3 (対象物)	今回の対象物と前回の対象物の認可申請書での切り分けについて、申請書では前回の対象物は含まないとしているが、現状の記載では対象物が不明瞭であるため、明確となる記載をすること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
2	審査会合	2023年10月5日	添付書類 P4-1 (評価単位)	評価単位の重量上限について、1.6トン収納重量の目安としているが、1.6トン以上を収納した場合の扱いが不明瞭なので、明確となるような記載を追記すること。	2023年12月5日に回答	回答済
3	審査会合	2023年10月5日	本文 P10 (核種選択)	前回の申請書からの変更点について、変更理由及び変更内容の具体的な内容を説明すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
4	審査会合	2023年10月5日	本文 P10 (核種選択)	二次的な汚染の評価に用いる放射性物質について、H-3を除いた32核種から選択しているようにみえるが、審査基準のとおり33核種から選択していることが分かるよう詳細に説明すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
5	審査会合	2023年10月5日	本文 P4 (汚染の状況)	今回と前回の対象物の汚染状況の違い及び過去のデータを引用できる根拠について、記載を拡充し詳細に説明すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
6	審査会合	2023年10月5日	本文 P4~9 (汚染の状況)	申請書における汚染の状況とその程度を示す代表サンプルの選定根拠について、全てを資料にまとめて説明すること。	2023年12月5日に回答	回答済
7	審査会合	2023年10月5日	申請書全般	前回の認可申請書を引用している箇所について、審査基準の適合性が明確となるように記載を見直すこと。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
8	審査会合	2023年10月5日	本文 P18 (検出限界値)	Co-60の検出限界値の妥当性について、評価対象核種を全て考慮して設定されるべきであり、申請書の期間末(2037年4月1日時点)の条件であってもΣD/Cが1以下を満足することの説明を追記すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
9	審査会合	2023年10月5日	本文 P16,17 (ピークBG)	評価に用いるピークBGの設定の妥当性について、夜間にピークBGを測定すると理解しているが、実際の測定では非安全側の評価とならないこと、昼間にピークBGが変動しないとしている考えについて説明を追記すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
10	審査会合	2023年10月5日	本文 P16,17 (表面汚染密度)	表面汚染密度測定について、審査基準では不確かさを含めて評価することとなっているため、不確かさを考慮しても0.8Bq/cm ² を下回る測定ができることの説明を追記すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
11	審査会合	2023年10月5日	添付書類 P6-10,11 (不確かさ)	不確かさについて、考え方を詳しく説明し、審査基準に示されている考え方の基本と異なる点については妥当性を説明すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答
12	審査会合	2023年10月5日	本文 P10 (核種選択)	核種選択について、分析値の不確かさを考慮しても第4位の核種が核種選択の結果に影響しないことについて説明すること。	2023年12月5日に回答し、2023年12月11日に再回答予定	今回回答